

パソコン等で行う定型業務を自動化するツールの「ロボティック・プロセス・オートメーション(RPA)」を導入し、業務の効率化等につなげる企業の動きが活発化している。

実際に、どのような企業が、どのような部門にRPAを導入し、業務を自動化しているのか。コンサルティング会社アビームコンサルティングは2017年10〜12月に日本RPA協会、RPAシステムを提供するRPAテクノロジーズと共同で導入に関する調査を実施し、3月に結果を発表した。

まず、導入企業を業種別に見ると、電子機器・精密機械、素材などの「メーカー」が全体の60%を占め、これに「サービス業」(12%)、「商社・小売」(9%)、「金融」(8%)が続いた。

次に導入企業の規模を見ると、従業員1000人以上が59%、売上規模500億円以上が59%を占めた。一方、問い合わせ

集中連載 RPA 活用最前線 (上)

活用企業は業務5割減

静岡ガスが春からテスト導入

の「フロントオフィス業務」、48%が「バックオフィス業務」にRPAを導入している。バックオフィスの内訳は「経理・財務」が30%、「総務」が30%、「人事」が20%、「法務、経営企画」が20%となっており、さまざまな部門で業務の自動化が進んでいる。他の事業会社に比べると、静岡ガスの導入は遅れ気味だが、エネルギー会社の中にも、働き方改革の一環として業務改革にRPAを導入している企業がある。効果はこれから見えてくる状況だが、試行実証を行っている企業などは既に手ごたえを感じているようだ」と説明する。

2部門に導入

都市ガス事業者はRPAを具体的にどのように活用し始めているのか。静岡ガスが来年度から本格導入に向け、この春からテスト的な導入を開始したと聞き、現地取材した。

「遅れ気味だが、エネルギー会社の中にも、働き方改革の一環として業務改革にRPAを導入している企業がある。効果はこれから見えてくる状況だが、試行実証を行っている企業などは既に手ごたえを感じているようだ」と説明する。

「一括申請に必要な一覧表データを作成できるようにした。導入して担当者ではなく、各部門の担当者が自ら行っている。基本的な使い方に関する一日講習を受けた後、パソコンの操作に慣れた人であれば、2、3週間で設定方法を習得できるといふ。」

「まだ間もないが、ロボットは確かにこちらが思うように動くことが分かった。こうした業務が効率化できれば、当社事業の競争力強化にもつながる」と事業推進部業務企画担当の鈴木マネジャーは話す。事業推進部ICT企画担当の佐藤貴亮マネジャーは「これまでの効率化とはタイプが違ふ。ピタリとはまった時の効果は大きい」と期待する。

「企業ではこれまで、人がシステムを操作しながら業務を行っていた。これからは人とシステムの間でロボットが入ってくるようになる。今後はこれが業務の標準的な形になっていく可能性もあるのではないか」と佐藤マネジャーは話す。

に使われていることが分かる。

注目の導入効果については、97%が業務工数を5割以上削減したと答えている。アビームコンサルティングは、RPAを「短期間で大幅な業務の効率化に貢献するツールであることがうかがえる」と分

RPAのイメージ



パソコン等で行う定型業務



RPAで自動化
・時間外労働削減
・人員の最適配置など

「RPAを導入したのは経理部門と料金関連業務を担うビルダングセンターの2部門。まず、各部門の2台のパソコンにNTTデータのRPAツール「WinActo r(ウインアクター)」をインストール。ロボットに業務を自動処理させ

「RPAを導入したのは経理部門と料金関連業務を担うビルダングセンターの2部門。まず、各部門の2台のパソコンにNTTデータのRPAツール「WinActo r(ウインアクター)」をインストール。ロボットに業務を自動処理させ

「RPAを導入したのは経理部門と料金関連業務を担うビルダングセンターの2部門。まず、各部門の2台のパソコンにNTTデータのRPAツール「WinActo r(ウインアクター)」をインストール。ロボットに業務を自動処理させ

「RPAを導入したのは経理部門と料金関連業務を担うビルダングセンターの2部門。まず、各部門の2台のパソコンにNTTデータのRPAツール「WinActo r(ウインアクター)」をインストール。ロボットに業務を自動処理させ

「RPAを導入したのは経理部門と料金関連業務を担うビルダングセンターの2部門。まず、各部門の2台のパソコンにNTTデータのRPAツール「WinActo r(ウインアクター)」をインストール。ロボットに業務を自動処理させ



鈴木マネジャー



佐藤マネジャー